

# 事後評価アンケート結果

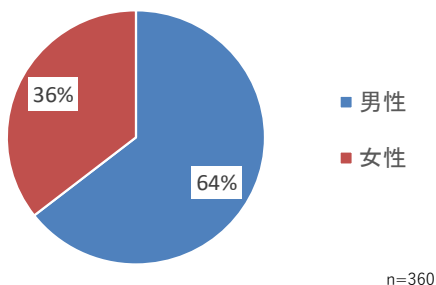
整理番号	R2 - 2
------	--------

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

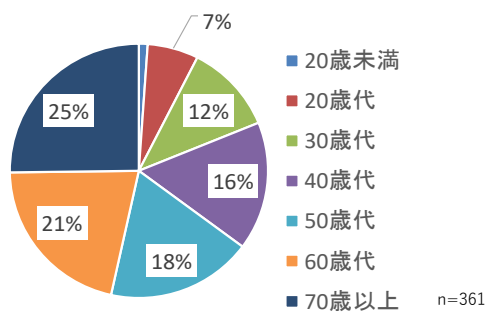
アンケート対象	一般住民(平川市:400人、田舎館村:430人)、企業関係者:23社、観光関連関係者:2団体		
配布方法	返信用封筒を同封したアンケート用紙を各戸へ配布、企業・観光関係者は郵送(配布部数)	855部	
回収方法	郵送による回収(平川市:139人、田舎館村:222人、企業:22社、観光:2団体)(回収部数)	385部	
回収率	45%		
アンケート結果			

<個人向けアンケート>  
回答者属性

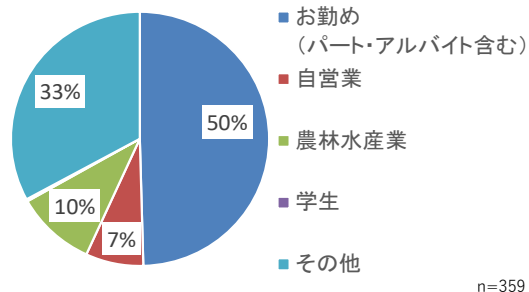
Q) 性別



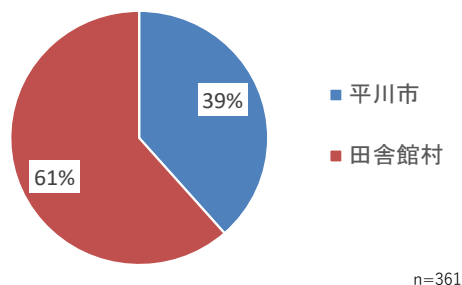
Q) 年齢



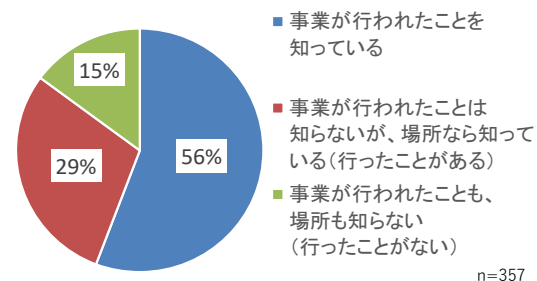
Q) 職業



Q) 住まい



Q) 認知度



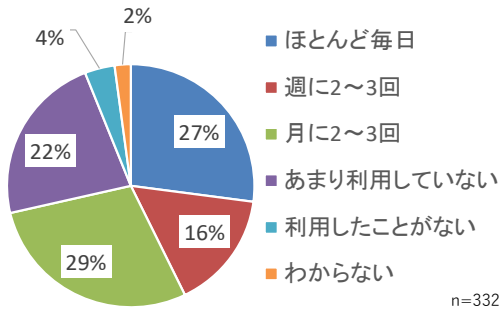
# 事後評価アンケート結果

整理番号 R2 - 2

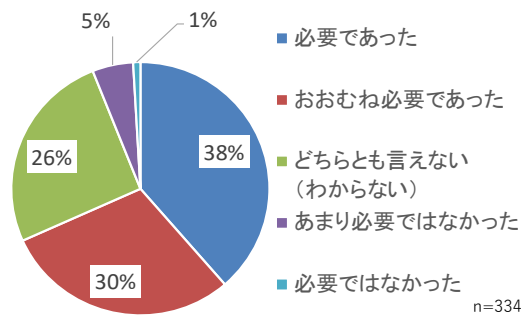
事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## アンケート結果

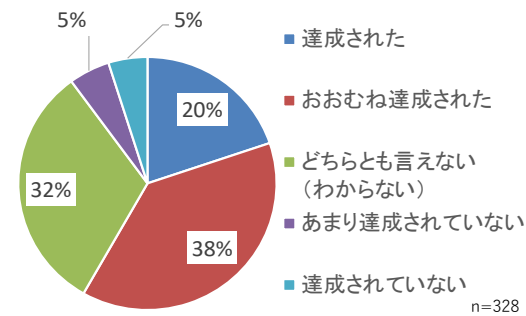
### Q) 利用回数



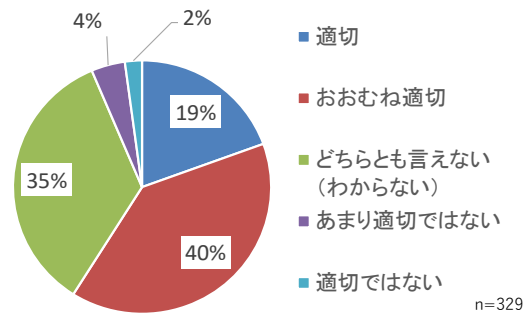
### 必要度



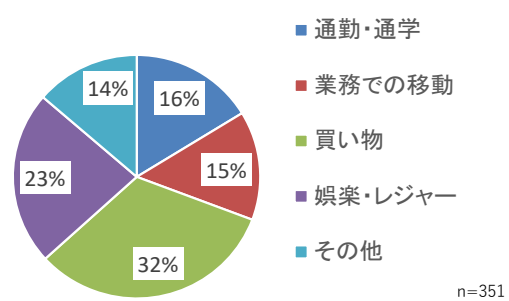
### 達成度



### 管理状況



### Q) 利用目的



## <個人向けアンケートつづき>

### Q) 地域にとってこの事業は必要であったと思いますか。

#### ◎主な意見

- ◆「必要(おおむね必要)」と回答した方の意見
  - ・ 幹線道路へのアクセスが良い。
  - ・ 通勤時間が短縮した。
  - ・ 道路も広くなり、とても便利になった。
  - ・ 交通量の分散による渋滞の緩和が図られたことは良いと思う。

- ◆「必要(あまり必要)ではなかった」と回答した方の意見
  - ・ 以前でも少し回り道にはなるが特になくても不便でない。
  - ・ 工事前より交通量の多い道路だったが、広くなった分、スピードを出していて、事故が多い。

- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 全開通がされなければ必要か否かは判断できず。

### Q) この事業の完成した結果を見て、事業目的が達成されたと思いますか。

#### ◎主な意見

- ◆「達成(おおむね達成)された」と回答した方の意見
  - ・ 生活地区を通過することなく通行出来るため交通安全、利便性が非常に良くなった。
  - ・ 交通の便が良くなり、道路も広く走りやすくなったため。
  - ・ 五所川原市や青森市への利便性が非常に高い。

- ◆「達成(あまり達成)されていない」と回答した方の意見
  - ・ 藤崎方面まで完成しないと事業の効果は少ないと思う。
  - ・ 接続される街路が未整備である。

- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 整備区間については、目的が果たされているが、前後の接続路線への影響は、むしろ交通量の増となっている。

### Q) この事業で整備したバイパスは青森県と田舎館村が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。

#### ◎主な意見

- ◆「適切(おおむね適切)である」と回答した方の意見
  - ・ 道路脇の草刈などもやってる方だと思います。
  - ・ 除雪がきちんとなされている。
  - ・ とてもきれいに保たれている。

- ◆「適切(あまり適切)でない」と回答した方の意見
  - ・ 交差点に信号機が不足している。
  - ・ 標識等も含めて、信号機があってもいい。

- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 夏場は良いですが、冬場の除雪が行きとどいていなかった面があり、利用しづらい面があった。

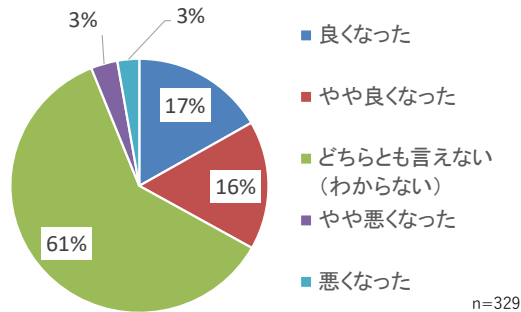
# 事後評価アンケート結果

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## アンケート結果

### <個人向けアンケートつづき>

#### 環境変化

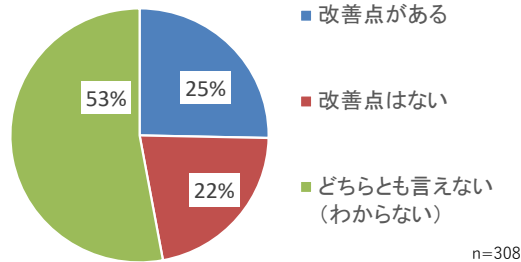


Q) 事業の実施により、環境の状況は、事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。

#### ◎主な意見

- ◆「良く(やや良く)なった」と回答した方の意見
  - ・ ダンプとかの大型車がバイパスの方を通るから、騒音・振動がほとんどなくなりよかった。
  - ・ (旧道の)夜間の交通量が少なくなったので騒音が小さい。
- ◆「悪く(やや悪く)なった」と回答した方の意見
  - ・ 道路(BP)の周りの家の人は、騒音と振動が増えたと思う。
  - ・ 土矢倉部落の交通量が多くなり危険になった。
- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 交通の便は良くなったが、その分交通量が増えた。

#### 改善点

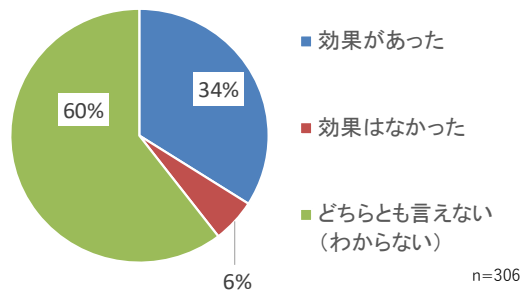


Q) この事業で行った工事や完成したバイパスについて、改善した方がよいと思う点がありますか。

#### ◎主な意見

- ◆「改善点がある」と回答した方の意見
  - ・ 交差点の危険回避のため、優先道路を明確にするか、信号機を設置する必要がある。
  - ・ 道路が整備されたことでスピードを出す車が増え交通事故が心配です。
  - ・ 両方に歩道を付けてもらいたいです。
  - ・ 防雪柵が必要。
- ◆「改善点がない」と回答した方の意見
  - ・ 特に問題を感じません。
- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 余り利用していないのでよくわからない。

#### その他の効果



Q) この事業を行ったことが地域活性化などに結びついたなど、「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

#### ◎主な意見

- ◆「効果があった」と回答した方の意見
  - ・ 大変便利な道路が出来たことにより、県外からの方も来やすくなったと思います。
  - ・ 五所川原方面からの通勤者も多く利用しているので、バイパスとしての役割を十二分に果たしていると思います。
  - ・ 他地域との交流促進がなされている。
- ◆「効果がなかった」と回答した方の意見
  - ・ バイパスへの接続がよくなったが、単なる通過点になっただけ。
  - ・ 生活道路との交差が増えて、事故が増えた。
- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 藤崎町までつながると効果は出てくると思う。

# 事後評価アンケート結果

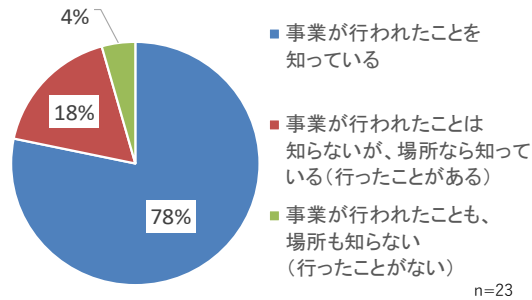
整理番号 R2 - 2

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

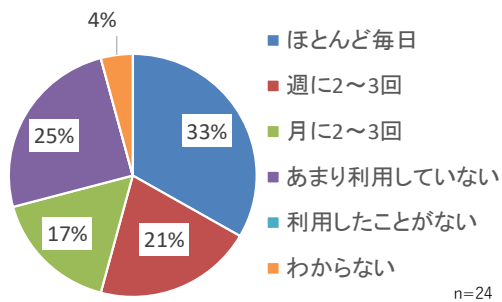
## アンケート結果

### <観光協会・企業団体向けアンケート> 回答者属性

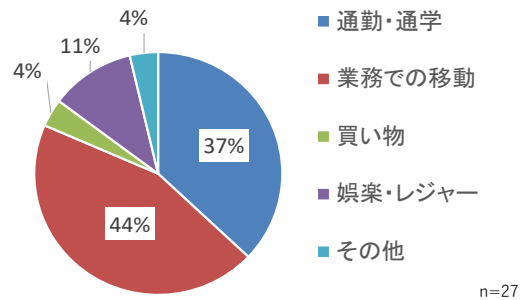
#### Q) 認知度



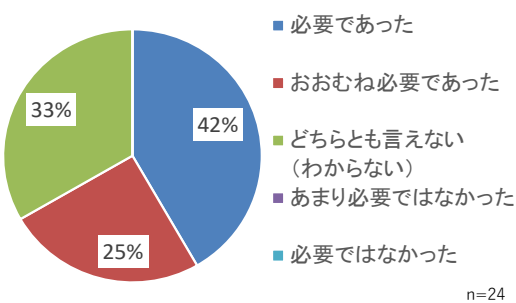
#### Q) 利用回数



#### Q) 利用目的



#### 必要度

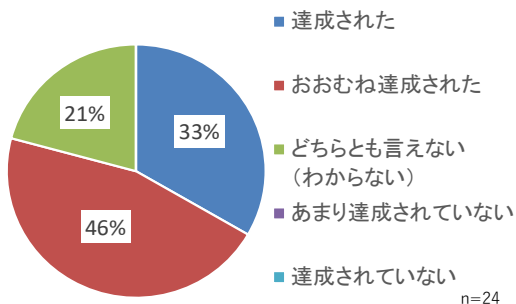


#### Q) 地域にとってこの事業は必要であったと思いますか。

##### ◎主な意見

- ◆「必要(おおむね必要)であった」と回答した方の意見
- ・ 住宅地の道幅の狭い道路から広い道路になり、スムーズに通行出来る様になった。
- ・ 黒石、平川からのアクセスがとても良い。(時短)
- ・ 安全になった。

#### 達成度 【走行しやすさ】



#### Q) この事業の完成した結果を見て、事業目的が達成されたと思いますか。 バイパスを利用することで走りやすくなりましたか？

##### ◎主な意見

- ◆「達成(おおむね達成)された」と回答した方の意見
- ・ 社員の通勤の時短になった。
- ・ 以前より道路幅が広くなり、大型車とのすれ違いの時、困らなくなった。
- ・ 狭い村道を利用しなくてもよくなった。

# 事後評価アンケート結果

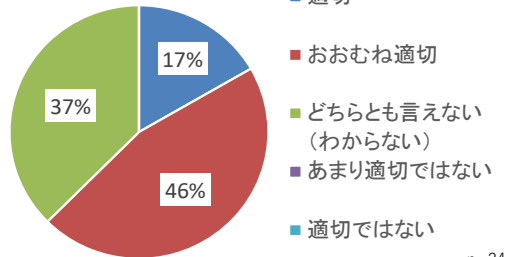
整理番号 R2 - 2

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## アンケート結果

### <観光協会・企業団体向けアンケートつづき>

#### 管理状況

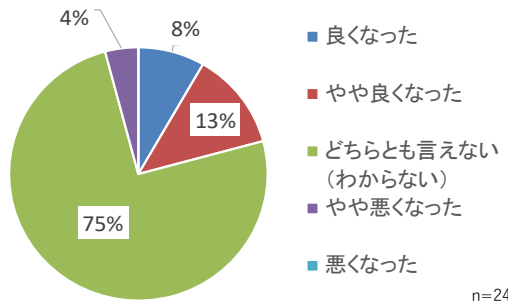


Q) この事業で整備したバイパスは青森県と田舎館村が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。

◎主な意見

- ◆「適切(おおむね適切)である」と回答した方の意見
  - ・ 適切。
- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 十字路の交通事故が多い。

#### 環境変化

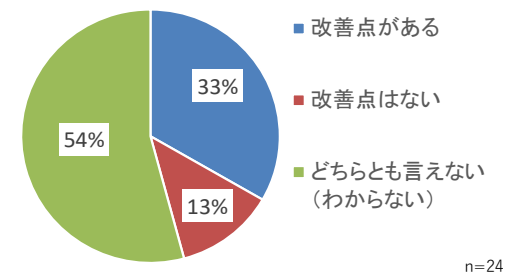


Q) 事業の実施により、環境の状況は、事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。

◎主な意見

- ◆「どちらとも言えない」と回答した方の意見
  - ・ 大きな変化は無いと思う。

#### 改善点

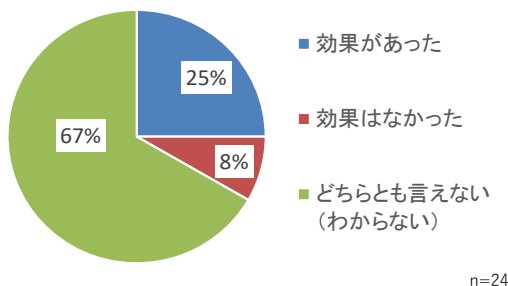


Q) この事業で行った工事や完成したバイパスについて、改善した方がよいと思う点がありますか。

◎主な意見

- ◆「改善点がある」と回答した方の意見
  - ・ バイパス部には信号があれば良いと思う。
  - ・ 国道横断の時、信号機。
  - ・ 一部区間で吹雪対策が必要と感じる(冬期に事故が多い)。
  - ・ 工業団地へ伸ばしてほしい。更に7号線へつなげて欲しい。

#### その他の効果



Q) この事業を行ったことが地域活性化などに結びついたなど、「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

◎主な意見

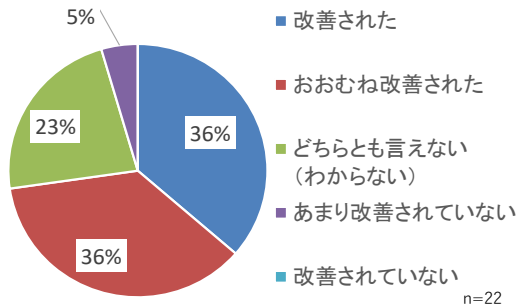
- ◆「効果があった」と回答した方の意見
  - ・ 利便性が良い。
  - ・ 一部従業員の通勤時間の短縮につながった。

# 事後評価アンケート結果

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## アンケート結果

### 【輸送時間短縮】 ※企業団体のみ



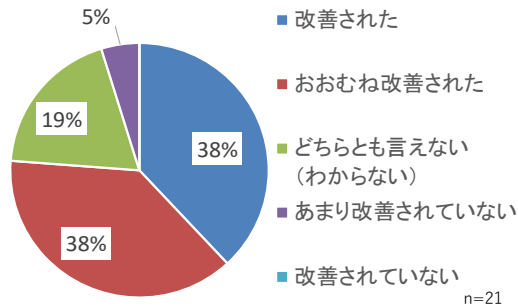
### <観光協会・企業団体向けアンケートつづき>

Q) バイパスを利用することで、輸送時間の短縮が図られましたか？

◎主な意見

- ◆「改善(おおむね改善)された」と回答した方の意見
- ・狭い村道を利用しなくてもよくなった。
- ・道路の選択肢が増えた事で、渋滞・混雑が緩和できて、多少の短縮が図られた。

### 【冬期輸送】 ※企業団体のみ

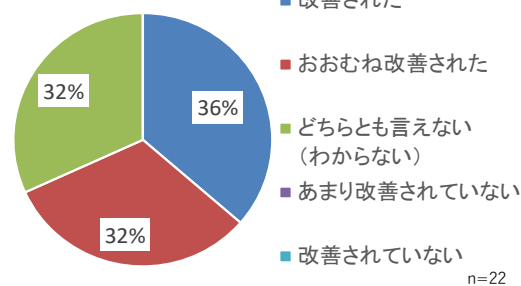


Q) バイパスを利用することで、冬期の輸送が楽になりましたか？

◎主な意見

- ◆「改善(おおむね改善)された」と回答した方の意見
- ・広い道路になり、除雪もされており、すれ違いで困ることが無くなった。

### 【産業発展への影響】 ※企業団体のみ

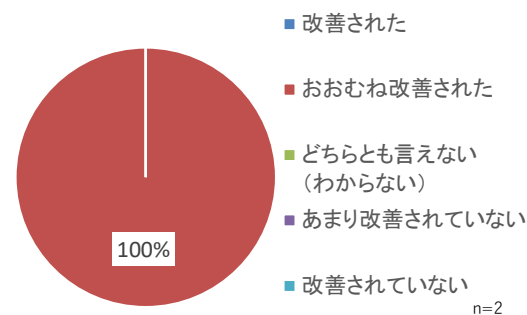


Q) バイパスは産業発展上役立っていると思いますか？

◎主な意見

- ◆「改善(おおむね改善)された」と回答した方の意見
- ・平川市→田舎館村→藤崎へのルートがつながり、国道7号や五所川原方面への移動がスムーズになった。

### 【アクセス改善】 ※観光協会のみ



Q) バイパスが整備されたことで、アクセス改善されましたか？

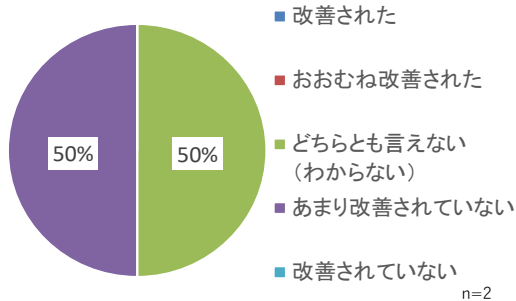
# 事後評価アンケート結果

整理番号 R2 - 2

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## アンケート結果

### 【観光振興への影響】※観光協会のみ



Q) バイパスは観光振興上(アクセス改善による施設のイメージアップやお客様満足度の向上、観光客数の増加など)に役立っていると思いますか？

◎主な意見

- ◆「改善(あまり改善)されていない」と回答した方の意見
- ・今回の改築事業は、バイパスから反対方向に観光地があるため。

### Q) その他意見(アンケート対象事業)

この事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

◎主な意見

#### <個人>

##### ■安全性

- ・通学道路に自転車道が必要である。
- ・冬でも安心して通れる道路にして下さい。

##### ■地域振興

- ・バイパスが通れば地域の交通量が激減して地域がすたれてしまうので行政面での防止策、活性化が必要と思う。
- ・この事業が進み道路がつながると五所川原方面と十和田湖・黒石方面がつながり、新たな観光ルートが作れそう。

##### ■道路整備

- ・事業中の工区についても早く着工・完成を願います。
- ・黒石藤崎線まで早期完成を願う。

##### ■その他

- ・道路事業等についても、いなかだて広報に記載してほしい。

#### <観光協会・企業団体>

##### ■道路整備

- ・黒石IC付近で大規模な物流センター建築が行われ、弘前方面へはR102号でのアクセスが良いと思うが、南北に走るバイパスもあることで効果は10倍以上になると思う。その為にも、R102号とR7号(藤崎)まではバイパス開通させて欲しい。
- ・藤崎、田舎館線も進めてほしい。

### Q) その他意見(公共事業全般)

アンケート対象に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

◎主な意見

#### <個人>

##### ■安全性

- ・見通しの悪い交差点がまだあるので整備してもらいたい。
- ・雪道に適した設計をして下さい。スタッドレスタイヤで安心して運転できる道路を作ってください。
- ・通学路の割に道路がせまい、自転車が危ない。

##### ■地域振興

- ・平川市、田舎館村の観光場所迄のルートが狭く、大型観光バスの利便性が悪い。
- ・川部駅までに通じる道路の整理、駅周辺の区画整理活性化を切に願います。(地域活性化の要となり得る駅)

##### ■道路整備

- ・黒石藤崎線まで早く整備してほしい。
- ・施工部分以外においての危険性、渋滞が発生している。依って部分的ではなく早期に整備が望ましい。

##### ■その他

- ・公共事業の必要性は感じているが、今回のように、意見・要望に対しては必ず検証するべきだと思う。

#### <観光協会・企業団体>

##### ■安全性

- ・バイパスが出来たことで「黒石藤崎線」の交通量が多いが、道路幅が狭く、危ない。信号付近は渋滞。通学路で自転車で走っていて危険。道路幅を広くして欲しい。

##### ■道路整備

- ・今後も必要な箇所への事業を積極的に行って欲しいです。
- ・災害のない都市は、道路を進めてほしいと思う。

(別紙)

# 費用対効果分析説明資料

整理番号 R2 - 2

事業名	県道改築事業	箇所名等	弘前田舎館黒石線 畑中工区
-----	--------	------	---------------

## 【費用対効果の算定内容】

### 1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は『公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針』(平成26年6月 国土交通省策定)による。  
 また、具体的算定手法については『費用便益分析マニュアル』(平成30年2月 国土交通省策定)及び『道路事業における県独自の費用便益分析実施要項』(令和2年3月 青森県)による。  
 本マニュアルにおいては、社会的余剰を便益(B)とし、整備に係る総費用及び維持管理費を現在価値に割り引いたものを費用(C)として評価するものとした。

### 2. 算定の前提条件

- (1) 評価基準年度: 令和2年度
- (2) 検討年数: 50年
- (3) 費用及び便益の現在価値: 投資額、評価期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)している。

## 【前回評価時からの増減内容】

区分	主な項目	前回評価時 (平成23年)	事後評価時 (令和2年)	増減額	増減理由
費用項目 (C)	算定基準年	平成22年度	令和2年度		
	(1) 改築費	1,179 百万円	1,853 百万円	674 百万円	事業費が93百万円増えたため増加した。
	(2) 維持修繕費	96 百万円	184 百万円	88 百万円	維持修繕費の見直しにより1.7百万/km増えたため増加した。
	(3)	百万円	百万円	百万円	
	(4)	百万円	百万円	百万円	
	(5)	百万円	百万円	百万円	
	総費用(C)	1,275 百万円	2,037 百万円	762 百万円	
便益項目 (B)	算定基準年	平成22年度	令和2年度		
	(1) 走行時間短縮便益	1,600 百万円	2,275 百万円	675 百万円	マニュアル(H30)の改定、および算定基準年をH22からR2に変更したため増加した。
	(2) 走行費用減少便益	351 百万円	359 百万円	8 百万円	マニュアル(H30)の改定、および算定基準年をH22からR2に変更したため増加した。
	(3) 交通事故減少便益	57 百万円	52 百万円	-5 百万円	マニュアル(H30)の改定により減少した。
	(4) 冬期便益	435 百万円	605 百万円	170 百万円	マニュアル(H30)の改定、および算定基準年をH22からR2に変更したため増加した。
	(5) 防災便益	1,431 百万円	1,431 百万円	0 百万円	
	総便益(B)	3,873 百万円	4,723 百万円	848 百万円	
	費用便益比(B/C)	3.04	2.32		

## 【費用対効果分析の結果】

費用便益比 B/C(事後評価時点) = 4,723百万 / 2,037百万 = 2.32  
 修正費用便益比 B'/C(事後評価時点) = 6,849百万 / 2,037百万 = 3.36



## 公共事業事後評価調書 記載要領

※記載すべき項目がない場合は、「－」とする。「特になし」「なし」「空欄」としない。

※同種の事業については、表記の仕方、数値の入れ方等について関係課で調整を図った上で記載すること。

1 事業概要	
項目	記載要領
整理番号	■企画調整課があらかじめ割り当てた番号を記載する。（2ページ目右上にも記載）
事業種別	■県の担当課、国の所管部局等で用いている当該事業の大まかな種別を記載する。 （農業農村整備事業、治山事業、道路事業、河川事業等）
事業主体	■当該事業を実施する主体を記載する。
事業名	■具体的な事業の名称を記載する。
管理主体	■当該事業を管理する主体を記載する。
箇所名等 (市町村名)	■当該事業を実施する箇所（区間、区域、地区等国庫補助事業等に係る採択区分単位）の名称を記載する。（ ）内に市町村名を記載する。
事業方法	■国庫補助、交付金、県単独のうち該当のものを「●」にする。
財源・負担区分	■国、県、市町村、その他のうち該当のものを「●」にし、事業費負担割合を記載する。（単位：％）
事業の背景・必要性	■事業着手に至った背景・課題・必要性等を記載する。
主な事業内容 (事業量)	■当該箇所で開催した事業内容等を記載する。 ・工種ごとの工事内容（規模：面積、延長等） ・必要に応じて、事業工程（基本設計、用地買収着手、工事着手、完成、供用開始等）ごとの当該事業の主な実施内容（工種、規模等）
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 ■金銭価値化が可能な効果について、想定した事業効果を記載する。  《その他の効果》 ■金銭価値化が困難な効果等(定量的・定性的効果)について、想定した事業効果を記載する。
事業の実施経過	■当該箇所の事業着手、用地着手、工事着手及び事業完了の年度を記載する。
公共事業評価の実施時期	■公共事業評価の実施時期を（ ）内に記載する。（※再々評価している場合は適宜、欄を追加） ■「事業期間（事業着手～事業完了）」欄は各評価時点での事業期間を記載する。 ■「総事業費」欄は各評価時点での総事業費を記載する。
計画変更の実施時期	■計画変更の実施時期を（ ）内に記載する。 ■「事業期間（事業着手～事業完了）」欄は各計画変更時点での事業期間を記載する。 ■「総事業費」欄は各計画変更時点での総事業費を記載する。
特記事項	■再評価理由、再評価結果（対応方針、附帯意見等）を記載する。 ■計画変更の理由、変更の内容を記載する。 ■その他特記事項があれば記載する。
《事業概要図》	■位置図、平面図、標準断面図等を掲載する。

担当部課室名	■担当部及び課室名を記載する。
電話番号	■担当課の直通番号を記載する。
E-MAIL	■担当課のE-メールアドレスを記載する。

## 2 事業完了後の状況

項目	記載要領
社会経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業効果の発現状況等に特に影響を及ぼしたと考えられる変化（社会経済情勢、上位計画、関連事業等の変化等）があれば、その内容を記載する。</li> </ul>
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■費用対効果分析算定の基礎諸元に変化があれば、その内容を記載する。</li> </ul>
事業効果の発現状況	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [想定した事業効果] に記載した金銭価値化が可能な効果の発現状況を記載する。</li> <li>■ 「必要度」と「達成度」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 図、グラフ、写真等を用いてビジュアル化し、分かりやすく表現する。</li> <li>■ 具体的なデータ等により数字を示せるものはできる限り記載する。</li> </ul> <p>《その他の効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [想定した事業効果] に記載した金銭価値化が困難な効果等（定量的・定性的効果）の発現状況を記載する。</li> <li>■ 「必要度」と「達成度」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 「その他効果」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 具体的なデータ等により数字を示せるものはできる限り記載する。</li> </ul> <p>《参考（費用便益比）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ B/C値は小数点以下第3位を四捨五入する。</li> <li>■ 事後評価のB/C算定に当たっては、既存データや近傍データ等の入手可能なデータ利用など、簡易な方法でも可とする。</li> <li>■ 事後評価のB/C算定に当たっては、基準年は事後評価年度とする。</li> <li>■ 事前評価制度の制定前に着手した箇所については、当初計画時にB/Cを算出している場合は、その数値を「事前評価時」欄に記載する。</li> </ul> <p>《特記事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 他事業等への効果や波及的な効果が認められる場合は記載する。</li> </ul>
事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 管理の状況及び管理上課題がある場合はその内容と対応方針を記載する。</li> <li>■ 「管理状況」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> </ul>
事業実施による環境の変化	<p>《「環境影響への配慮」の効果発現状況(特に留意した配慮内容がある場合)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業実施中に特に留意した内容がある場合は、その効果発現状況を記載する。</li> <li>■ ここでの環境は自然環境のほかに生活環境や歴史的・文化的環境も含む。</li> <li>■ 「環境変化」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 具体的なデータ等により数字を示せるものはできるだけ記載する。</li> </ul> <p>《その他の環境の変化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上記以外の主な環境の変化を記載する。</li> <li>■ 「環境変化」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 具体的なデータ等により数字を示せるものはできるだけ記載する。</li> </ul>

## 3 まとめ

項目	記載要領
改善措置の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「改善点」に関するアンケート結果を踏まえ記載する。</li> <li>■ 事業完了後の状況で、効果発現状況、管理状況、環境変化、アンケート結果で課題がある場合は、その内容とそれに対する対応方針（改善措置）を記載する。</li> </ul>
再度の事後評価の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業効果の発現状況、環境変化の可能性、また上記に係る改善措置の経過確認の必要性などの観点から、再度の事後評価の必要性について記載する。</li> <li>■ 状況が軽微な場合は、当該項目の継続評価（観測）、状況報告等の簡易な対応について記載する。</li> </ul>
今後に向けた留意点	<p>《同種事業の計画・調査の在り方》</p> <p>《事業評価手法の見直し》</p> <p>《同種事業の内容・手法等の在り方》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設計段階において別の方法が考えられなかったか、こういう視点からも検討が必要ではなかったか等の視点を持って、波及的な効果、将来の展望等を踏まえて記載する。</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 特記事項があれば記載する。</li> </ul>